

I 概 要

1 沿 革

鹿児島大学農学部附属農場は、明治41年（1908）、勅令第68号によって創設された鹿児島高等農林学校の実験実習農場として設置された。その後、大正元年に種子島牧場、大正5年に唐湊果樹園、大正7年に指宿植物試験場が相次いで設置され、現在の陣容がほぼ整備された。昭和24年（1949）、法律150号国立大学設置法により鹿児島大学農学部附属農場となり、昭和43年には種子島牧場が入来町に移転し、入来牧場と改称されるなど幾多の変遷を経て現在に至っている。主な出来事は年譜に示したとおりである。

当場は、農場本部と学内農場農事部、学内農場畜産部、唐湊果樹園、指宿植物試験場および入来牧場の5付帯施設からなる分散型農場であり、それぞれの立地する地域の特性を活かし、特色ある教育・研究を教員、技術職員、事務職員一体となって推進している施設である。農場実習は、機能の異なる5付帯施設において、畜産、果樹、普通作物、野菜、花卉、観葉植物および熱帯作物といった農業のほぼ全分野にわたって実施されている。また、果樹、熱帯作物、花卉、家畜の遺伝資源収集を行っている。さらに、農業技術の指導および公開講座等を介して地域農業発展に取り組んでいる。

<年譜>

明治41年3月(1908)	勅令第68号により鹿児島高等農林学校が創設され実験実習農場設置
大正元年11月(1912)	附属農場種子島牧場設置
大正5年7月(1916)	附属農場唐湊果樹園設置
大正7年10月(1918)	附属農場指宿植物試験場設置
昭和19年4月(1944)	鹿児島農林専門学校附属農場と改称
昭和21年2月(1946)	附属農場伊佐総合実験場設置
昭和24年5月(1949)	法律第150号国立学校設置法により鹿児島大学農学部附属農場設置
昭和31年3月(1956)	附属農場伊佐総合実験場廃止
昭和43年3月(1968)	附属農場種子島牧場廃止
昭和43年4月(1968)	附属農場種子島牧場を薩摩郡入来町に移転し、附属農場入来牧場と改称
昭和46年4月(1971)	附属農場事務長制設置
昭和51年7月(1976)	附属農場指宿植物試験場研究宿泊棟竣工
昭和56年1月(1981)	附属農場研究実習棟竣工
昭和56年9月(1981)	附属農場唐湊果樹園研究実習棟竣工
昭和58年3月(1983)	附属農場動物飼育棟竣工
平成10年9月(1998)	附属農場の将来構想を策定
平成11年4月(1999)	農場事務長制廃止および附属農場事務の農学部事務部への一元化
平成19年4月(2007)	施設主任制から植物・動物部門主任制へ変更、技術総括ポストの新設、実習教育委員会の設置と兼任教員制の導入（附属農場規則の改正および実習教育に関する要項の制定）

2 施設の所在地と特色

1) 農場本部：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号

農場の管理運営と企画調整を担当する専任教員組織（主事、植物部門主任および動物部門主任）ならびに農場運営（総務、会計、生産物販売等）を担当する事務部で構成された部門である。

2) 学内農場農事部：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号

大学構内にある。約3haの用地の中に、水田、畑地、施設ハウスを備え、水稲、畑作物、野菜および花卉を中心とした教育実習と研究を行っている。

3) 学内農場畜産部：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号

大学構内にある。ウシ、ブタ、ヤギ、ニワトリ、ウマを飼育する動物飼育棟を中心に、教育実習と研究を行っている。

4) 唐湊果樹園：〒890-0065 鹿児島市唐湊三丁目32番1号

大学キャンパスの西南部2kmに位置した傾斜地に設置された果樹専門の施設である。約7haの用地に、カンキツ、ビワ等の常緑果樹、モモ、カキ、クリ、スモモ、ウメ、ブルーベリーなどの落葉果樹が栽植され、それらを対象とした教育実習と研究を行っている。また、果樹の遺伝資源施設として国内有数の規模を有している。

5) 指宿植物試験場：〒891-0402 指宿市十町1291

指宿市に設置されている施設（約4ha）である。温暖な気候と温泉熱利用を活かした熱帯・亜熱帯性の作物、野菜、

果樹、観賞植物など対象とした教育実習と研究を行っている。また、熱帯・亜熱帯性植物の遺伝資源施設として国内有数の規模を有している。

6) 入来牧場：〒895-1402 薩摩川内市入来町浦之名字大谷4018-3

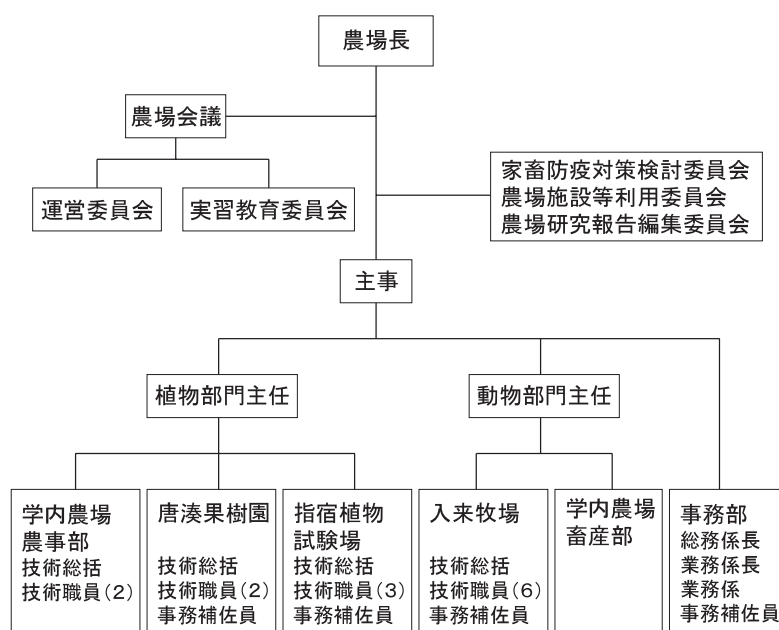
薩摩川内市と鹿児島市の境に位置する八重山の頂上近くに設置された牧場である。ウシ、ヤギおよびウマが飼育されており、それらを対象として実習教育と研究を行っている。

3 組織

平成19年4月、農場実習の充実と高度化を図るために、実習教育体制と農場運営組織の再編を行った（資料参照）。すなわち、学理と実習の統合した実習教育を推進するため、施設主任制から兼担教員制に改めるとともに、兼担教員による「実習教育委員会」を設置した。また、家畜飼養に関する衛生管理を強化するために「家畜防疫対策検討委員会」を設置した。

農場の運営組織としては、施設主任制から部門主任制に移行するとともに、部門主任を農場本部付きとした。また、各施設の技術職員組織に技術総括ポストを新たに設けた。以下に、新たな組織図を示す。

1) 組織図



2) 職員配置

農場長（併任）、主事（運営責任者）、植物部門主任（学内農場農事部、唐湊果樹園、指宿植物試験場の統括責任者）および動物部門主任（入来牧場と学内農場畜産部を統括責任者）が配置され、各施設には技術総括が1名ずつ配置されている。技術職員は技術総括を含め、農事部3名、唐湊果樹園3名、指宿植物試験場4名、入来牧場7名で、総勢17名である。また、事務職員は農学部事務部から3名が派遣され、非常勤職員は4名の配置となっている。

第1表 職員配置および人数

区分	教授	准教授	助教	技術総括	技術職員	事務職員	非常勤職員
農場長	[1]						
農場本部							
農場主事	1						
植物部門主任		1					
動物部門主任			1				
学内農場農事部				1	2		
学内農場畜産部							
唐湊果樹園				1	2		1
指宿植物試験場				1	3		1
入来牧場				1	6		1
事務部						3	1
合計	1[1]	1	1	4	13	3	4

[]は兼務。

I 概 要

3) 職員名簿 (平成19年4月1日現在)

農場長 (兼務)	教 授	坂田 祐介 (観賞園芸学研究室)
主 事	教 授	黒田 治之
植物部門主任	准教授	遠城 道雄
動物部門主任	助 教	伊村 嘉美
(学内農場農事部)		
植物部門主任	准教授	遠城 道雄
技術総括	技術専門職員	松元 里志
	技術職員	龍野 巳代
	技術職員	田浦 一成
(学内農場畜産部)		
動物部門主任	助 教	伊村 嘉美
(唐湊果樹園)		
植物部門主任	准教授	遠城 道雄
技術総括	技術専門職員	川口 昭二
	技術職員	野村 哲也
	技術職員	福留 弘康
	短時間勤務職員	堀内由美子
(指宿植物試験場)		
植物部門主任	准教授	遠城 道雄
技術総括	技術職員	谷村 音樹
	技術職員	寺本 玲香
	技術職員	中野 八伯
	技術職員	勘米良祥多
	短時間勤務職員	岩下 愛
(入来牧場)		
動物部門主任	助 教	伊村 嘉美
技術総括	技術専門職員	片平 清美
	技術専門職員	花田 博之
	技術専門職員	内村 利美
	技術職員	木山 孝茂
	技術職員	廣瀬 潤
	技術職員	富永 輝
	技術職員	城戸 麻里
	短時間勤務職員	下竹原さおり
(事務部)		
総務係	係 長	八汐 一博
	短時間勤務職員	尾前 純子
業務係	係 長	西川千賀子
	係 員	金子 新一

4 土地および建物

農場の所有する土地および建物の面積を第2表と第3表に示した(各施設の見取り図は)。なお、唐湊果樹園の果樹園が192㎡減少しているが、これは、ブドウ栽培用硬質プラスチックハウスの新設のためである。

第2表 施設毎の土地面積

区 分					単位：㎡
	学内農場農事部	唐湊果樹園	指宿植物試験場	入来牧場	計
水田	13,960	0	0	0	13,960
休耕地	0	0	10,183	0	10,183
畑 (含む採草地)	6,706	6,850	10,436	980,000	1,003,992
果樹園	0	42,608	3,994	0	46,602
放牧地	0	0	0	448,440	448,440
温室	600	396	1,550	0	2,546

ビニールハウス	282	3,520	5,350	0	9,182
建物敷地その他	10,442	19,709	7,615	50,011	87,777
合計	31,990	73,083	39,128	1,478,451	1,622,652

第3表 施設毎の建物面積

＜本部・学内農場農事部・畜産部＞			＜唐湊果樹園＞			単位：㎡
建物名称	構造	面積	建物名称	構造	面積	
研究実習棟	RC2	880	研究実習棟	RC2	807	
堆肥舎	RC1	91	温室	S1	204	
動物飼育棟 A	R1	677	燃料庫	B1	4	
動物飼育棟 B	RC2	159				
用土リサイクル施設	S1	77				
合計		1,884	合計		1,015	

＜指宿植物試験場＞			＜入来牧場＞			単位：㎡
建物名称	構造	面積	建物名称	構造	面積	
研究宿泊棟	RC3	820	管理棟	RC2	659	
収納庫	R1	16	畜舎棟	RC2	1,910	
物置	w1	35	燃料庫	CB1	6	
堆肥舎	B1	30	農機具庫	S1	298	
収納舎	w1	93	避難牛舎	CB1	88	
農具庫・倉庫	B1	119	(44×2棟)			
資材倉庫	w1	39	避難牛舎	B1	210	
便所	RC1	15	(42×5棟)			
植物温室	R1	137	物置	B1	14	
果樹温室	R1	208	(2×7棟)			
花卉温室	R1	312	薬液タンク庫	CB1	3	
蔬菜温室	R1	330				
植物温室	R1	210				
合計		2,364	合計		3,188	

5 農機具、車両および備品

農場で現有している農機具と車両の一覧表を第4表に、備品を第5表に示した。本年度に新規購入した農機具および車両は第7表に示した。

第4表 施設毎の農機具および車両

施設名	農機具名及び車両	メーカー・型式	用途	購入年月
学内農場農事部	トラクター	ヤンマー US-36	農耕用	H11.12
	乗用田植機	ヤンマー PE-IX.S	〃	H16.6
	耕耘機	ヤンマー	〃	H2.3
	〃	ヤンマー YA70FA	〃	H8.7
	脱穀機	ヤンマー YAPKA6DE	〃	H2.10
	籾すり機	ロータリーハラ RHS400A	〃	H10.10
	マニュアルスプレッダー	デリカ DAM-1530S	〃	H2.3
	乾燥機	ヤンマー YCD-21FX3	〃	H8.3
	ハイベラー	スター THB1050	〃	H9.3
	中型チップパー	東興 71020	〃	H12.6
	運搬車	ヤンマー VP8GD	〃	H9.9
	〃	ヤンマー HFG182PPC	〃	H12.2
	タマネギ移植機	ヤンマー PM2-D24	〃	H17.11
	コンバイン	ヤンマー GC323VXJ	〃	H18.3
ポット土入機	スズテック STK-37PS	〃	H19.3	
唐湊果樹園	貨物自動車	いすゞダンプ PB-NKR81AN	輸送用	H16.11
	ミニ油圧ショベル	コマツ PC25-1	土木用	H8.3
	乗用型ロータリーモア	ヤンマー SRM1010VH	農耕用	H9.6
	トラクター	ヤンマー KE40ASZ	〃	H10.3
	ローダー	ボブキャット 453型	〃	H11.6
	ブレンドキャスト	タカキタ BS-521SSY	〃	H13.2

I 概 要

	運搬車	ヤンマー FG183SD4WD	〃	H10. 3
	〃	ヤンマー FG1835D4WD	〃	H13. 3
	〃	ヤンマー MOG1500LD	〃	H15. 3
	草刈機	筑水 草刈機まさお220	〃	H17.12
	運搬車 サテライト	筑水 ELS670-KCDP	〃	H19. 1
指宿植物試験場	乗用車	トヨタカローラワゴン AE100G	乗用	H 5.11
	普通貨物自動車	マツダ タイタンダッシュ	輸送用	H17.12
	トラクター	三菱 MT2201 DVSIN	農耕用	S58.11
	〃	イセキ TU-185FUWX	〃	H 1. 3
	運搬車	イセキ SL375DSE	〃	H 8. 2
	〃 2台	イセキ SL380DSE	〃	H 9. 3
	〃	イセキ AM61L	〃	H18. 3
	耕耘機	イセキ KC100FD	〃	H 9. 2
	乾燥機	金子農機 BBF-202-NSP	〃	H13. 5
	マルチロータリー	イセキ RAY1207	〃	H18. 3
	スキッドステアローダー	TCM	〃	H18. 3
入来牧場	乗用車	スズキカルタス E-AA44S	乗用	H 8. 2
	貨物自動車	トヨタダイナ KK-XZU421	輸送用	H12. 9
	〃	トヨタダイナ KK-XZU400A	〃	H16. 2
	〃	マツダブローニー Z-SDEAT	〃	H 7. 8
	トラクター	ジョンディア JD-6200DPMSGH	農耕用	H12. 3
	〃	ジョンディア JD-6215	〃	H15. 8
	〃	フォード 7840型	〃	H 6. 3
	〃	ジョンディア JD-6410	〃	H13. 2
	マニアスプレッダー	ジョンディア JD-4	〃	H 7. 3
	〃	ヤンマー	〃	H17. 7
	ロールベアラ	ジョンディア JD-570	〃	H12.10
	テッドレーキ	ヤンマー	〃	H 5.10
	フロントローダー	日本ニスホーランド LAS7840	〃	H 7. 3
	〃	ジョンディア JD-851PC	〃	H15. 8
	クレーン	ユニック UR053	土木用	H10. 2
	トレーラー	スター HD9S	〃	H10. 2
	ジャイロレーキ	ヤンマー GRY6501H	農耕用	H18. 3
	臨床化学自動分析装置	スッポトケム EZ SP-4430	研究用	H18. 4
	バーチカルハロー	スガノ DC230SP	農耕用	H19. 3
	普通乗用車	トヨタ PROBOX VPX	輸送用	H19. 3
フロントローダー	イセキ	農耕用	H19. 3	
トラクター	イセキ T5095DGLCY22	〃	H19. 3	

第5表 施設毎の備品

施設名	物品名	規 格	用途	購入年月	取得価額
学内農事部	食味分析計	PS-500型	測定装置	H15.3	1,134,000
唐湊果樹園	枝葉木粉碎機	セツア SRE110	粉碎機	H15.3	893,550
入来牧場	臨床化学自動分析装置	スポットケム EZSP-4430	分析装置	H18.4	1,050,000
入来牧場	マイクロプレートリーダー	バイオテック NJ-2300	測定装置	H19.4	630,000
学内畜産部	超音波診断装置	SON-TITAN-A	診断装置	H18.3	2,100,000
主事研究室	原子吸光分析装置	パーキンエルマージャ	解析装置	H13.3	3,150,000